

# 従来の限界性能を打破する「突破材料」 ～次世代の革新的材料開発に貢献する産総研の取り組み～

日本の材料研究における国際力強化に加え、地球規模の課題解決に必須となる革新的な材料開発は喫緊の課題となっています。本企画では、産総研における従来の限界性能を打破する革新技術・材料を「突破材料」と称し、産総研における最近の「突破材料」の主要な成果を紹介いたします。

日時：2023/10/19（木）13:30～17:55

申込フォーム

会場：タワーホール船堀 5階 小ホール

申込URL：<https://gakkai-web.net/p/chemistry/reg/new2.php>



## プログラム

- ◆アンモニア回収システム：材料探索・部材化・システム開発での課題突破による実現  
川本 徹（産総研 ナノ材料研究部門・首席研究員）
- ◆窒素資源の循環に貢献する燃焼排ガスからの新規アンモニア合成法の開発  
富田 衷子（産総研 極限機能材料研究部門・主任研究員）
- ◆スーパーエンジニアリングプラスチックにおける革新的リサイクル技術  
南 安規（産総研触媒化学融合研究センター・主任研究員）
- ◆従来高分子の約500倍高い選択率で希薄なCO<sub>2</sub>を分離回収する膜の開発  
河野 雄樹（産総研 化学プロセス研究部門・主任研究員）
- ◆200年の歴史を持つ冷凍技術を新しく塗り替える磁気冷凍材料の開発  
藤田 麻哉（産総研 極限機能材料研究部門・上級主任研究員）
- ◆0.5 μLの微小水滴さえも滑落していく親水性皮膜の開発  
穂積 篤（産総研 極限機能材料研究部門・上級主任研究員）
- ◆極性植物分子の新たな可能性：有機デバイスの電極修飾層への応用  
赤池 幸紀（産総研 ナノ材料研究部門・主任研究員）
- ◆窒化ケイ素の材料探索時間を大幅に削減するAI技術の開発  
福島 学（産総研 マルチマテリアル研究部門・研究グループ長）
- ◆寿命を飛躍的に改善した大容量のリチウム金属電極の開発  
周 英（産総研 ナノカーボンデバイス研究センター・主任研究員）

無料

一般公開

# 第13回 CSJ化学フェスタ2023 R&Dセッション、ランチタイムセッション

タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀4-1-1）で開催される  
第13回 CSJ化学フェスタ2023において、R&Dセッション、ラン  
チタイムセッションの出展を行います。

10月17日（火）～19日（木）  
（1F 展示ホール）  
R&Dセッション

10月19日（木）12:15～12:55  
（F 会場（2F 福寿））  
産業技術総合研究所ランチタイムセッション  
～研究生活やキャリアについて～

材料・化学領域の研究者が語ります！



雑賀 あずさ 主任研究員



竹内 勝彦 主任研究員

講演者の略歴は、材料・化学領域ページでご覧いただけます！  
（<https://unit.aist.go.jp/rp-mc/recruit.html>）